



横手地区小中学校の統合による市・県の道路整備について

土田 百合子

問 市道、境中央線と静町上小屋幹線の拡幅について。

答 安全な通学路の確保は、重要課題であると位置付け、市道の整備は学校全体の通学路のあり方を含めて整備手法を検討していく。

問 県道大曲横手線と市道静町赤坂線の交差点への「右折車線の設置」について。

答 右折車線を設置する方向で協議中である。

問 子宮頸がん・ヒブ（ヘモフィルスインフルエンザ菌b型）ワクチン公費助成について。

答 今後、補正予算で対応する。子宮頸がんワクチンの対象は中学校1年生から高校生の女子1803人である。ヒブと肺炎球菌ワクチンは、0歳から4歳まで3232人で、対象者には個別通知を出す。

問 コミュニティFM放送緊急告知ラジオの無料配布について。

答 公共施設・屋内避難場所・高齢者世帯・障がい者世帯など概算で、9千台余りを用意して集中アンテナの整備等に併せて年次計画で進める。

問 赤坂総合公園グラウンドゴルフ場内の休憩所建設と駐車場・水飲み場を設置することについて。

答 コース西側に東屋1カ所と同等の物を増設する。公園の南側に駐車場60台規模と考えている。水飲み場の増設については早急に取り組む。

問 健康の駅「うくらく体操」普及のためのDVDの販売について。

答 個人的にDVDが欲しい方へは、市民歌と同じ百円ほどと考えている。



赤坂総合公園グラウンドゴルフ場

●その他の質問●

○学校給食センター統合計画案について

○雄物川温泉えがの丘、プール入り口の消毒槽について

市長が目指す市民との協働のまちづくりとは

佐藤 誠洋

問 合併後5年になるが、未だに協働のまちづくりの姿が見えてこない。市民の理解が進んでいるとは思えないし、一方で、職員も市長と共通認識を持っていないと言いが難い。市民に対して、職員に対して、市長の強いメッセージを望む。

答 合併後理念を掲げ、様々な施策に反映してきたが、未だに高いハードルだ。より一層の努力が必要であり、特に職員の感受性不足を感じており、喚起を促す。

問 先進のごみ処理統合施設は、子供たちのエコの学習の場として利用されているが、現在計画中の処理施設での廃熱利活用について考えを伺う。

答 施設から出る熱量はそれほど多くなく、施設内の空調や給湯、構内道路のロードヒーティングなどの使用を考えているが、地域の方々の要望も踏まえ、前向きに検討する。

問 ごみ処理統合施設の隣接地に、産業用太陽光発電、小規模風力発電などを組み合わせたハイブリッドな種苗センターを建設したらどうか。

答 事業主体などを考慮して、

農業振興や地域振興も含め実現可能か、関係機関等と協議してまいりたい。

問 地域局と本庁は今後どのように機能していくのか。

答 本庁と地域局との連携なくして住民サービスの充実はありえない。また、地域局に住民サービスの求めに対応できる力が必要だ。お互いの職員が、広角的な視野を持って、住民サービスの充実を図ることが重要だ。

問 来年度からの補助金制度に関する指針の完全実施は可能か。

答 必要性に応じて見直しする。繰越金の取り扱いも再度検討し、また、内部的にも公平性を保てるように対応する。



市民に対応する窓口のようす